

川邊 翔平 (KAWABE Shohei)

主任研究員 博士 (工学)

1982 群馬県生まれ埼玉県育ち

2011 東京理科大学大学院理工学研究科 修了

2011 東京理科大学理工学部土木工学科 助教

2014 農研機構 農村工学研究部門 施設工学研究領域



研究者の横顔

<研究紹介>

水路や農道など農業用の施設の安全性や健全性に関する研究をしています。人間の健康診断のように、悪いところを調べる技術や回復させる技術の開発です。最近では、より高度な施設の健康診断を目指して、スマートフォンやインターネットなどICT、3Dを活用する方法を検討しています。漫画、ゲーム、VFXのCG技術、が参考になります。

<道楽1：GW 渋滞を見に行く>

ゲーム、読書、動画視聴など基本はインドア属性なのですが、自転車、ゴルフ、旅行なども好きです。旅行の目的は道中、地理、観光、食事などです。今回は先日の旅行記を紹介させていただきます。

ふと、GW 渋滞を見たくなりました。NEXCO や国土交通省の情報から対象を東北自動車道下りと中央自動車道下りの、比較的近場の2か所に決めました。今回は中央自動車道の話です。渋滞に入るのは嫌なので上り車線から眺めてきました。ニュース等で情報としては知っていましたが実際に大変な渋滞で、休暇・旅行の人はもちろんですが仕事で利用している人もいます。渋滞の先頭はサービスエリアでした。仕事の車のために追越し車線を空けてあげてほしい、とか、自動運転が実現したら渋滞なくなりそう、と、改めて思いました。

<道楽2：その道中の観光>

もちろん渋滞を眺めるだけではもったいないので観光もしました。長野県佐久市から山梨県甲府市の辺りを1泊で回りました。ひとり旅の場合は自動車に自転車を載せて、非有名観光地を回ることが多いです。今回訪れたのは「日本で海から一番遠い地点」の入口（本当の地点は上の写真から山道を2.3km）、日本に2つしかない五稜郭の有名じゃない方（龍岡城、現在は佐久市立田口小学校）、日本列島のへそ（山梨県韮崎市内の果樹園の端っこ、「こういう決め方もあるのか」と思える）、信玄堤（コレは有名）、山梨県立リニア見学センター（コレも有名。なんで回転しないのに「モーター」というかがわかり、己の半可通ぶりを思い知った）、でした。野辺山駅（標高1345.67m）とJR 最高地点（1375m）、日本最大のパラボラアンテナ、は天候と時間の関係でスキップしたので、そのうち行きたいです。

ご存知の方もいると思いますが「日本の中心」はいくつかあります。自分で納得できる中心を計算したい、と思いその夜調べていたら「日本本土四極踏破証明書」なるものを自治体が発行していることを知りました。いつか達成したい、と新たな目標ができました。

自治体のWebページを見ると意外な日本唯一や歴史的名所・景観など情報誌等にはない所が紹介されています。例えば農林水産省でも郷土料理等を紹介しています。誰もが知る有名観光地も良いですが、各省庁や自治体、学会等が紹介しているちょっとマイナーな情報も良いものです。ご旅行の際ちょっと見てみてはいかがでしょうか。



リニア見学センターの補強土

